

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぎやらりー（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	R7年 2 月 1 日 ～ R7年 3 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	R7年 2 月 1 日 ～ R7年 3 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 4 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢層が幅広く、異年齢とも楽しめる活動をしながら社会性や協調性が育まれるよう成長を支援しています。	子ども同士のかかわりを増やすことで自然と自分の気持ちを伝えられることが増えたり、協調性や思いやりを育めるよう様々な発達を促しながら支援しています。	支援する上での安心安全な環境づくりにも心がけ、管理や点検も迅速に行う。
2	社会見学を取り入れた外出支援を積極的に行っている。	生活する上で必要な行動ができるように一緒に買い物へ行ったり、外出先でもリハビリを取り入れ外の新たな刺激を感じられるように対応しています。	重心の方にもリハビリの提供を取り入れながら、一人一人に適した外出支援を実践する。
3	充実したスタッフの育成	弊社スタッフは児童発達支援管理責任者を筆頭に、看護師、保育士、介護福祉士など様々な各種資格のスタッフが、独自の研修制度を設けたり、充実した支援が提供できるように努めています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域やコミュニティとの関わりがそんなに多くないこと。	なかなか全員がイベントやお祭りなどに参加することが難しく、保護者も望まれない方が多数だったため。	こちらから積極的にイベントの際などには主催者に声をかけていく。一人一人が楽しんでもらえるように、計画を念入りに立て、保護者とも相談をしながら、たくさんの人との交流を深めていく。お互いが楽しめるように取り組む。
2	保護者との情報提供・情報共有の徹底化。	非常時の対応や安全確保についての説明が保護者に対して欠けていたこと。BCPマニュアル等設備をしているが、それだけではなくも契約時やモニタリング時にも細かく説明する。大事なお子さまをお預かりしている責任をもち、情報共有する必要がある。	通信やSNSでも情報を発信し、外部の方にも周知してもらう。
3	他事業と連携した取り組みを増やす。	他事業所との連携不足 同業者としての情報の共有	定期的に開催している事業所連絡会に参加イベント等の開催・参加する。